

FOR IMMEDIATE RELEASE

ポジティブワン、1GHz クロック以上の ARM Cortex-A8/A9, Sheeva ボードコンピュータにフォーキャスト

ポジティブワンでは、ハイパフォーマンスなデジタル信号処理(H. 264, 3D, フル HD 対応等)、複数の制御機能、低消費電力を実現が必要な高度なモバイル機器、メディアプレーヤーなどのマルチメディアに対応する際、1GHz 以上の ARM Cortex-A8 及び ARM Cortex-A9, Sheeva のボードコンピュータのご提供をし、システムインテグレーションを含めたサービスを目指します。

2010 年コンシューマ市場では、1GHz 以上クロックの ARM コア搭載スマートフォンやマルチメディアプレイヤが販売されています。今後、さらに、1GHz 以上のハイパフォーマンスのコンシューマ機器や産業用機器が増えると想定しております。その場合、H. 264, 3D 対応のハードウェア・コーデックと高解像度への対応、x86 上で利用されているフルブラウザと同等機能が対応されることが期待され、HTML5 や Java、Flash アプリケーション開発が容易になり、ソフトウェアの生産性が高まる可能性を秘めています。そして、本来、ARM コアに求められている低消費電力とコスト・パフォーマンスが含まれることも想定できます。

ポジティブワンでは、すでに、1GHz クロック対応のプロセッサがリリースされ、OEM ユーザーへの販売及びサポートを開始しました。ARMADA168 及び ARMADA166 (Sheeva コア 1GHz) 搭載 SODIMM 形式のシステムオンモジュール、OMAP3730 (ARM Cortex A8 1GHz) 搭載 SODIMM 形式のシステムオンモジュール及びベースボードがそれにあたります。

そして、短期間で商品開発が可能とするため、SODIMM システムモジュールをコアとして利用し、汎用ベースボードを利用するか、カスタム・ベースボードを開発するかを選択により、OEM ユーザーの開発の有効性や生産性を確保、アプリケーション重視の開発が可能となります。

2011 年のハイライトは、2011 年 Q1 (1 月～3 月) のなかで、NVIDIA の Tegra T2 (ARM Cortex-A9) SODIMM システムモジュールとサムソンの S5PV210 (ARM-Cortex-A8 1GHz) SODIMM システムモジュール、2011 年 Q2 (4 月～6 月) のなかでフリースケール・セミコンダクタ社の i.MX531 (ARM-Cortex-A8 1GHz) SODIMM システムモジュールがリリースされ、OEM ユーザーのアプリケーションや求める仕様に合わせたご提案の幅を広げます。

OEM ユーザーが所有する開発環境に伴い、利用される 1GHz クロックのプロセッサが決定していくがありますが、ポジティブワンのユーザーの多くは、①アプリケーション仕様

FOR IMMEDIATE RELEASE

に合わせたシステム構成の提案を求められる、②コストを重視して検討していく、③ボードコンピュータや開発環境を含めたソリューションと完成度を重視されます。そこで、ポジティブワンでは、OEM ユーザーが求める仕様に合わせて、プロセッサ、ボードコンピュータ、開発ツール、システム開発といったワンストップシステムソリューションのご提案を致します。

OEM ユーザーのアプリケーション仕様によっては、ポジティブワンから既に販売されているフリースケール・セミコンダクタ社 i.MX515 (ARM Cortex-A8 800MHz) SODIMM システムモジュール、フリースケール・セミコンダクタ社 i.MX257/i.MX258 (ARM9 400MHz)、TI 社 OMAP3530 (ARM Cortex-A8 800MHz) SODIMM システムモジュール、Telechip 社 TCC8900 (ARM Cortex-A8 800MHz) SODIMM システムモジュール、サムソン社 S3C6410 (ARM11 667MHz) 搭載 SODIMM 形式システムオンモジュール及びそれらのベースボードなどをご提案致します。

開発ツールに関しては、ドイツ iSystem 社 iC5000 オンチップデバッグ&トレース可能な統合開発環境 (OMAP3, iMX51, i.MX53 等対応済)、ドイツ Segger 社の J-LINK オンチップデバッグ (ARM Cortex-A8, ARM11 等対応済む) の販売及びサポートが可能です。

オペレーティングシステムに関しては、Linux2.6, Android, WindowsCE, QNX のボードサポートパッケージを用意され (注・CPU 毎に確認が必要)、リアルタイム OS である SCIOPTA、embOS への対応サービスも行います。

ハイエンドプロセッサになるほど、実績があるボードコンピュータの利用を検討と採用される OEM ユーザーが増えており、さらには、システム開発を一部委託したり等、タイム・トゥ・マーケット対応とリスク回避といった方法をとる OEM ユーザーが増えています。ポジティブワンは、1GHz 以上の ARM Cortex-A8/A9, Sheeva ボードコンピュータへのワンストップ・システムソリューションをご提供し、ユーザーニーズに対応をしていきます。

ポジティブワン株式会社について

ポジティブワン株式会社は、エンベデッド・システムインテグレータとして、グローバルのスタンダードな高耐用性・高信頼性の各種ボード、ソフトウェア、開発ツール等を販売すると同時に、エンベデッドから PC、モバイル、サーバーを含むアプリケーションの受託開発を受けることが可能です。最適なシステム提案を行い、お客様に、よりご満足いただけるソリューションカンパニーを目指しております。

FOR IMMEDIATE RELEASE

当ニュースに関するお問い合わせ窓口

ポジティブワン株式会社

〒150-0043 東京都渋谷区道玄坂 1-12-1 渋谷マークシティ・ウエスト 22F

Tel: TEL 03-5330-8648 FAX 03-4360-5301

E-mail: poc_sales@positive-one.com URL: <http://www.positive-one.com>

サンプル ; ARMADA168 (1.2GHz)

